

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ソレイユ守谷		
○保護者評価実施期間	2025年5月20日 ~ 2025年6月20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年6月24日 ~ 2025年7月7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年7月25日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの事を十分に理解し、子どもや保護者のニーズや子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられる。	個別支援のためアセスメントシートを活用するとともに聞き取りが出来る場合には本人からも意見を聞き、総合的に計画書を作成し支援に当たっている。	・事業所内相談支援の周知 ・職員研修の充実
2	児童発達支援支援計画に沿った支援がおこなわれている。	上記計画に基づき、支援担当者を決めて児童発達支援管理責任者と連携を取りながら計画の遂行や調整をおこなっている。また、個別支援計画の面談資料は職員全員が閲覧し、担当者以外も把握するように努めている。	・ケース会議の継続的な実施 ・令和6年児童発達支援ガイドラインの読み合わせ
3	子どもが安心感や楽しみを持って通所している。	子どもが安心して通う事が出来る様に支援プログラムの難易度を都度調整している。また、活動の最後にはお楽しみを入れて楽しかったと思って帰つてもらえるように工夫している。	・職員研修の充実 ・成功事例の共有

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園や認定こども園、幼稚園との交流、地域の他の子どもたちと活動する機会がない。	個別支援の特性上、外出等の機会がない。	今後も外出する機会は無いと思われるが、待ち時間に会った子に対して指導員と一緒に挨拶をするなどの機会を設ける様に努める。
2	ペアレントトレーニングや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会がない。また、父母の会や保護者会等の保護者同士の交流の機会がない。	コロナ前にはおこなっていたが、現在は休止している。	保護者が付き添いで一緒に来所している場合には療育や運動の場面で保護者にその子の特性や声掛けの方法等を伝える様にしている。また、事業所アンケートでは保護者会等は必要ないとの意見もあるが、今後、保護者のニーズを聞きながら再開できる体制を整える。
3	定期的にホームページやSNS等で活動や行事予定等の情報等を発信。	ホームページの更新やソレイユ通信を定期的に発行しているが、一部の保護者には認知されていない現状がある。	子どものその日の活動内容や様子については子どもの送迎時に出来るだけ説明する機会を設けている。また、ホームページやソレイユ通信が認知されるように都度案内する様に努める。